

多くの魚類が育まれるしくみを探る
熱帯河口域における魚類の多様性維持機構

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産研究・教育機構
	公開日: 2025-01-14
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 南條, 楠土
	メールアドレス:
URL	所属: 水産研究・教育機構
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012574

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



多くの魚類が育まれる しくみを探る

熱帯河口域における魚類の多様性維持機構



生物生産学科
南條 楠土

研究の目的

マングローブと呼ばれる独特の植物が生育する熱帯河口域(図1)は、多くの魚類が生息する重要な漁場となっています。しかし、近年は生態系の劣化が著しく、魚類の多様性を維持しながら生態系を保全することが求められています。本研究では、このような熱帯河口域に多くの魚類が生息するしくみを明らかにすることを目的として、現場調査や野外実験などを実施しています。



研究の成果

マングローブによる根の構造が魚類の分布に及ぼす影響を調べた結果、構造が複雑なほど多くの魚類が分布することがわかってきました(図2)。また、マングローブの根の周りには様々な無脊椎動物が生息しており、これらが魚類にとって重要な餌となっていました。したがって、マングローブの存在はそこに棲む多くの魚類にとって隠れ場や餌場となる重要な環境要因であることがうかがえます。



図1 熱帯の河口域に見られる
マングローブ(満潮時)



図2 マングローブの根の周り
に集まる小型魚類



波及効果

- ・熱帯河口域の生物多様性を維持するための有効な保全策の構築に貢献

